



コーディネーターだより

岡山県立岡山南支援学校
支援教育係
平成 22 年 4 月 23 日

新しい仲間と先生たちを迎えて、新学期がスタートしました。学校生活やご家庭での様子はいかがでしょうか？

今年度の本校特別支援教育コーディネーター3名をお知らせします。特別支援教育コーディネーターが、保護者のみなさんから教育相談を受けたり、校外の関係機関との連絡調整にあたりたりします。また、地域の学校や園から来校教育相談を受けたり、巡回相談に出かけたりしてセンター的役割を果たします。

本校のみなさんのために、地域のみなさんのために力を合わせて取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

特別支援教育コーディネーター・巡回相談員の紹介

それぞれの学部の担当です。石川は全学部のまとめ役も兼ねます。よろしくお願ひします。



小学部：石川 正明



中学部：重本 喜美子



高等部：穂崎 弘政

相談と窓口

- 保護者からの相談の窓口は担任です。
まず、担任の先生に連絡帳、電話等でお伝えください。相談内容に応じて、「コーディネーターにも相談したい」「コーディネーターにもたずねたい」等とすることができます。
- 担任は、保護者の相談内容やニーズに応じて、コーディネーター（石川）、各学部の教頭・教務、コーディネーター等に連絡します。
- 担任を通して、面談・教育相談の日時を連絡します。

サポートブックづくり研修会のお知らせ

今年度も、ご希望の保護者のみなさまを対象に、サポートブックづくり研修会を開きます。今、全国で、一貫した支援のために、いろいろな手帳やファイルがつくられ、試行されています。岡山県でも、倉敷市の「かがやき手帳」、総社市の「サポートブック よろしくね」、津山市等では「相談支援ファイル はぐくみ」等がつくられ、試行されています。

本校では、それらの共通のベースになる「サポートブック」を希望者のみなさまと作ろうと思っています。この機会に、一緒に考えて作りませんか？



新年度が始まり、3週間あまりたちました。

今、支援教育係では、公開講座について、講師の先生とやりとりしながら準備しています。また、地域のみなさんから問い合わせや来校相談がしやすいように、リーフレットを作成し、配布しているところです。

今年は、希望の保護者を対象に、サポートブックづくり研修会を1学期に開催したり、また、本校でみなさんが作り、使われている支援ツールを、自立活動係と一緒にホームページで紹介したりする予定です。

先生がたの日頃の取り組みの様子を拝見していると、頭が下がります。折りにふれて子ども達の様子や支援ツールなど見せていただくと、有り難いです。また、保護者との連携の苦労話、配慮していることなどのお話を放課後に聞かせていただければと思います。公開講座で、保護者との教育相談や連携の仕方など企画しています。講師の先生に内容をお願いする上で、みなさんの配慮していることやわからないことなどお伝えすると、より具体的な話が聞けるかもしれません。



地域の動き

総社市では

○相談支援センター「ゆうゆう」が開設されました。日常生活に関する相談、福祉サービスに関する情報提供を行っています。総社市役所の隣、総社市総合福祉センターにあります。

相談支援専門員は天野豊、相談支援員：山田新二です。

○「サポートブック「よろしくね」」モニター版が完成。半年試行し、モニターの声から、改善し、本格的な実施をする予定です。実物は、支援部掲示板の横の棚にあります。

岡山市では

幼稚園にも、特別支援教育コーディネーターが指名されるようになりました。4月23日コーディネーター研修会がありました。岡山市では、年々コーディネーター研修が充実し、ケース会や保護者まじえたケース会など、活発に開かれています。



本校では

問い合わせ 3件 自立活動の手引きについて（特別支援学校）、視覚支援について（特別支援学校）、通常学級登校しぶりの子どもの相談場所は？（保護者）

巡回相談 1園 岡山私立幼稚園5/22（金）

本の紹介「子ども虐待という第四の発達障害」



あいち小児保健医療総合センター 杉山登志郎先生

「子どもに身体的、心理的、性的加害を加え続けると、反応性愛着障害を起こし、結果として、高機能広汎性発達障害や注意欠陥多動性障害によく似た臨床像を呈する。」

【参考図書】

- ・『子ども虐待という第四の発達障害』 杉山登志郎 2007年 学研
- ・『子を愛せない母 母を拒否する子』 ヘネシー・澄子 2004年 学研

2冊とも、石川の机の上にあります。関心のある方は読んでみて下さい。